



令和7年4月号

こんにちは。桜もあつという間に満開を迎え、夏のような陽気になったかと思えば、急に肌寒くなる日もあり、気温の変動が激しい時期が続いていますね。先日、あるセミナーに参加した際、労務相談に特化したAIツールの登場が話題に上り、時代の移り変わりを感じました。近年では、労務分野にも徐々にこうしたAIの活用が広がりつつあります。中でも印象的だったのは、AIツールにどのように指示を出すか（プロンプトを作成するか）が非常に重要であるという点です。より具体的かつ的確にプロンプトを記載することで、AIからの回答の質が大きく変わることで、ツールの使い方次第で成果が左右される時代になってきていると実感しました。

とはいっても、企業ごとの状況に応じた判断や、実務に落とし込む段階では、やはり人の知見とこれまでの経験が不可欠であると感じたところです。 安藤

【Contents】

- 高年齢雇用継続給付の縮小
- 増える外国人労働者
- 事務所スタッフより

1. 高齢者

高年齢雇用継続給付の縮小

令和7年4月1日から、雇用保険の「高年齢雇用継続給付」が縮小され、最大15%の支給率が10%に下がります。高年齢雇用継続給付は、企業で働く高齢者を給与面で支援するための給付金です。本稿では、高年齢雇用継続給付の支給率縮小について、概要をお伝えします。

1. 基本的なしくみ

高年齢雇用継続給付は、60歳になった時点と比べて、賃金が75%未満に下がった状態で働き続ける高齢者に支給されます。高齢者とは、60歳以上65歳未満の雇用保険の一般被保険者を指します。60歳以降は一般的に、50歳代の時と比べて給与が下がります。そこで、給付金を支給して補填するのです。

令和7年3月31日までのルールでは、月の賃金が、

60歳になった時点と比べて61%以下となった人に、下がった賃金の15%の給付金が支給されます。15%が最大の支給率です。60歳になった時点と比べて、75%以上の賃金がもらえる人には、給付金は支給されません。

例えば、60歳になった時点の賃金が月30万円の人が、60歳以降、賃金が下がった状態で働き続ける場合、給付金は以下のようになります。

賃金が月 26万円に低下	賃金が 75%未満になつてないので、支給率は 0%。給付金は支給されない。
賃金が月 20万円に低下	低下率が 66.67%なので、支給率は 8.17%。 支給額は 20万×8.17% = 月 16,340円
賃金が月 18万円に低下	低下率が 60%なので、支給率は 15%。 支給額は 18万×15% = 月 27,000円

2. 令和7年4月1日からの支給率

令和7年4月1日からは、月の賃金が、60歳になった時点と比べ64%以下になると、下がった賃金の10%相当の給付金がもらえます。10%が最大の支給率とな

ります。

例えば、60歳になった時点の賃金が月30万円の人が、60歳以降、賃金が下がった状態で働き続ける場合、給付金は以下のようになります。

賃金が月 25万円に低下	賃金が 75%未満になつてないので、支給率は 0%。給付金は支給されない。
賃金が月 21万円に低下	低下率が 70%なので、支給率は 4.16%。 支給額は 21万×4.16% = 月 8,736円
賃金が月 17万円に低下	低下率が 56.67%なので、支給率は 10%。 支給額は 17万×10% = 月 17,000円

新しい支給率（最大10%）が適用されるのは、令和7年4月1日以降に60歳になる人です。従って、令和7年3月31日以前に60歳になる人は、古い支給率（最大

15%）が適用されます。雇用保険では、「60歳になる日」は「60歳の誕生日の前日」のことです。

■支給率早見表（令和7年4月1日以降）

各月に支払われた賃金の低下率	支給率	各月に支払われた賃金の低下率	支給率
75.00%以上	0.00%	69.50%	4.60%
74.50%	0.39%	69.00%	5.06%
74.00%	0.79%	68.50%	5.52%
73.50%	1.19%	68.00%	5.99%
73.00%	1.59%	67.50%	6.46%
72.50%	2.01%	67.00%	6.95%
72.00%	2.42%	66.50%	7.44%
71.50%	2.85%	66.00%	7.93%
71.00%	3.28%	65.50%	8.44%
70.50%	3.71%	65.00%	8.95%
70.00%	4.16%	64.50%	9.47%
64.00%以下		10.00%	

※厚生労働省「令和7年4月1日から高年齢雇用継続給付の支給率を変更します」より

3. さいごに

高年齢雇用継続給付は、平成7年4月に創設され、当時の支給率は最大25%でした。その後、政府の高齢者雇用法制の見直しもあって、65歳までの雇用が一般化してきたことから、平成15年5月に最大15%に引き下げられました。政府は今後、この給付金の廃止も検討

しています。ただ、当面、この給付金は続きます。給付金の支給申請は、原則として企業がハローワークに提出して行います。

何か気になる点等あれば、お気軽にご相談ください。

2. 外国人

増える外国人労働者

日本では現在、約230万人の外国人労働者が企業などに雇われて働いています。外国人を雇用する事業所全体のうち、従業員30人未満の企業が6割強を占めており、中小・零細企業にとっても無関心ではいられません。本稿では、厚生労働省が今年1月末に公表した「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和6年10月末時点）から、主なデータを紹介します。

1. 過去最多230万人

同まとめによると、令和6年10月末時点の外国人労働者数は2,302,587人。前年と比べて253,912人増え、届出が義務化された平成19年以降、過去最多となりました。

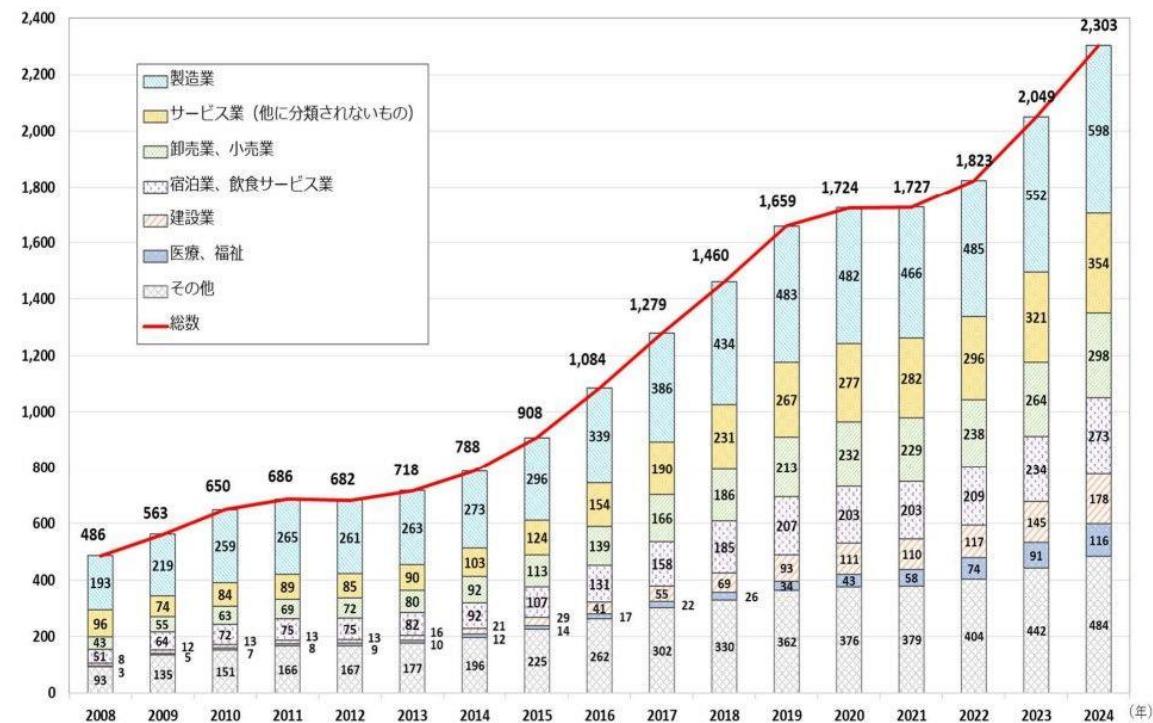
業種別では、製造業が最も多く、26.0%となっています。そのほか、サービス業（他に分類されないもの）15.4%、卸売業・小売業13.0%などとなっています。

外国人を雇う事業所数は342,087事業所で、前年比23,312事業所増え、届出義務化以降、最多を更新しました。事業所の規模別では、従業員「30人未満」が62.4%を占め、次いで「30～99人」の事業所が17.2%に上りました。

約230万人の外国人労働者のうち832,555人（36.2%）が「30人未満」の事業所で、450,054人（19.5%）が「30～99人」の事業所で働いています。

(単位:千人)

産業別外国人労働者数の推移



※厚生労働省「外国人雇用状況」届出状況のまとめ（令和6年10月末時点）より

2. ベトナムが最多

国籍別では、ベトナムが最多で570,708人、次いで中国408,805人、フィリピン245,565人となっています。前年と比べて増加率が高かったのは、ミャンマー(61.0%、43,430人増)、インドネシア(39.5%、48,032人増)、スリランカ(33.7%、9,863人増)でした。

また、在留資格別では、「専門的・技術的分野の在留資格」が718,812人、「身分に基づく在留資格」(永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者)が629,117人、「技能実習」が470,725人などとなっています。

3. さいごに

外国人労働者を雇う場合、企業は、日本人と異なる

労務管理を求められる場面があります。例えば、雇い入れや離職時には、氏名、在留資格、在留期間等を確認し、ハローワークへ届け出なければなりません。労働条件通知書などの書類について、外国語版を用意するケースも想定されます。在留管理制度の概要や在留カードの見方も知っておく必要があります。また、外国人の人権や習慣にも配慮するべきです。

ハローワークでは、わかりやすい冊子「外国人の雇用に関するQ & A」などを用意しています。出入国在留管理庁も、「外国人の適正な雇用にご協力ください」と題したパンフレットを作っています。ぜひ、これらをご活用ください。

Q & A

記事の中でちょっと気になる豆知識をご案内。今回は、2ページ目の「増える外国人労働者」に関連する豆知識をお伝えします。

Q.

留学生をアルバイトとして雇うことは可能ですか。

A.

留学生が資格外活動許可を受けている場合、アルバイトとして雇うことができます。資格外活動許可を受けている場合は、パスポートに許可証印又は「資格外活動許可書」が交付されていますので、それを確認してください。

留学生については、一般的に、1週28時間以内を限度として勤務先や時間帯を特定することなく、包括的な資格外活動許可が与えられます（当該教育機関の長期休業期間にあたっては、1日8時間以内）。なお、資格外活動の許可を受けずにアルバイトに従事した場合は、不法就労となりますのでご注意下さい。



✿事務所スタッフより✿

夏の間はなかなかできなかったのですが、冬や暖かくなってきた最近は、意識をしてよく歩いています。普段の生活で運動らしい運動は全くしないので、せめて移動はなるべく歩こうと思い、30分くらいの距離であれば歩き、それ以上の距離であれば電車、体力が大丈夫そなうならレンタサイクル、というようにしています。

地図を見ると歩くような距離ではないと思っていた距離も、実際歩いてみると大した距離ではなく、なんだ、意外と歩けるじゃんという満足感を得られ、その満足感にプラスして、体力・移動距離も手に入り、ほどよい疲れから夜はよく眠ることまででき、良いことばかりです。

また、近所を歩くときも普段は通らないような細い路地をあえて通ってみると、この道ここに繋がっていたんだ、こんなところにお店があるなんてと小さな驚きを得ることができます。最近は近所にカラスによく遭遇できる道を見つけたので、今日は何羽いるかなと予想したりしています。

普段と違う道を歩くことで、これまで見過ごしていたことや目新しいことに興味を持ちやすくなつたのだと思うと、

体力も気力もつけてくれる歩くことは心身の健康に直結しているので、これからも意識して続けていこうと思っています。

(山上)



温かい日も増え、過ごしやすくなつきました。

私はこの時期、花粉症に悩まされており、温かくなつて嬉しい反面、目のかゆみ・肌荒れ、くしゃみ・鼻水などの症状に悩まされております・・・。

最近は、黄砂についての情報も天気予報で見かけるようになりました。ずっと昔から飛来はしていたようですが、最近は増加傾向にあるそうです。特に、3～5月の飛来頻度が高まっているそうです。



花粉症も悪化しやすいそうですので、黄砂なども一緒に対策できる花粉ブロックスプレーが手放せなくなりそうです。

花粉症仲間の皆様、もうしばらくマスクなどが手放せない日々が続きますが、くれぐれもご自愛くださいませ。(三森)

104-0033

東京都中央区新川1-10-10
とらい館3階

安藤社会保険労務士法人
TEL 03-6206-2320 FAX 03-6206-2321
URL <https://ando-sr.jp>
e-mail ando@ando-sr.jp